

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)JV海老名プロジェクト	階数	地上15F
建設地	海老名市上今泉字蛭沼2046の1の一部ほか2筆の各一部	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	1,442 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2016年2月2日
敷地面積	15,227.13 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	3,301.62 m <sup>2</sup>	確認日	2016年2月2日
延床面積	32,439.12 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 63% (87 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 63% (87 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④ 上記+: 63% (87 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・計画地の沿道部分には緑化を施し、特に住宅のアプローチとなる部分は緑量を確認し、周囲の建築物等と調和する色彩計画とした。また、ランニングコストを抑える為、機械式駐車場を設けず、全て平置き駐車場(412台:戸数比100%)の計画とした。	<b>その他</b> 0	
<b>Q1 室内環境</b> ・住宅の開口部には庇(一部)及びカーテンレールを設置し、日射への対応に配慮している。・部材にはF☆☆☆☆、VOC放出が極めて少ない建材を採用し、環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・海老名市景観計画区域の基準に基づく色彩配置としている。
<b>LR1 エネルギー</b> ・省エネルギー対策等級4とした ・廊下側及び妻側サッシは複層ガラスとする。(空気層6mm)	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・内装の更新性に配慮し、二重床、二重天井、二重壁の採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 平置き駐車場(412台:戸数比100%)確保したうえで、バイク置場を設置することで周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される